

# 十五年戦争から戦後民主化と都留市誕生へ〜昭和期

## 恐慌から戦争へ

### 昭和戦前期

昭和二年に始まる深刻な恐慌の下で、地域の町村は実際にはどうだったのだろうか。当時の山梨日々新聞のルポルタージュ記事によると、「長年続いた農村の疲弊、財界の不振などの打撃は大きく、村自体の個性に即した産業や生活をどう安定させていくかが、県下町村の課題であった。ただ、将来に期待できるのは校長などの指導による村民の自覚の精神が鼓吹され、質実剛健や勤儉努力といった村更生の精神的方向づけがされ、青年団・女子青年団の団結がみられたことであろう(禾生村)。養蚕業の窮状を打開し、村更生の第一歩として十万円の内債整理と柿・漆・椎茸などの副業の奨励、米麦の多収獲法の工夫に着手している(三吉村)。甲斐絹の不振を挽回すべく、町営の三大事業として、職業紹介所・水道・電気事業を創設し、町経済の振興を図った(谷村町)。機業を復活させるために機業部会をつくり、利用価値があり良品質の製品を産出するように改善案をたて、他方、鉾山を三菱合資会社の経営に任せて合理化を図った(宝村)。小学校を中心とした諸団体が窮状打破の更生計画に積極的で、貯金会・少年農会などは特

筆されるべきである(開地村)。養蚕から米作への拡充などに将来を期待し、経済更生運動も積極的で、青年団の事業として信用組合の購買部を引受けたり、貯金会を主宰している(盛里村)」。恐慌の嵐のなかで、庶民生活を守るために、庶民金融を行う公営の質屋が設置されることになった。その先がけとなったのは昭和六年開設の禾生村の公益質屋である。谷村町営公益質屋も、昭和九年五月に開業し、庶民金融機関として活用されていた。

## 戦後民主化時代

### 昭和戦後期

昭和六年から同二十年に至るいわゆる「十五年戦争」の長い間に人々の生活や意識は戦争に勝ち抜くために、全ての時間が費やされ、地域に固有のさまざまな慣習や行事も変えられていった。これほどの変化はこれまでの歴史では見られなかったものである。

昭和二十年八月十五日に戦争が終わったといっても、そう簡単に頭の切り換えができたわけではない。戦争の後遺症がさまざまな面でみられていたのである。

敗戦による動揺は、次第に新しい日本の建設への期待に振り替えられていった。民主化の一番手は昭和二十一年四月の衆議院議員の

総選挙であった。選挙権の引き下げや婦人の参政権が認められたために、これまでより三倍以上の人が投票に参加できて、民主主義の喜びを身をもって体験できたのであった。

また、文化国家建設の期待は、学校教育の改革にかかっていた。昭和二十二年四月から全ての町村に義務教育六・三制による新制中学校が設置されたのである。

町村にとって、新制中学校の設置と並ぶ大事業としては、農地改革の実施があった。この実施に当たったのは町村ごとに置かれた農地委員会である。この農地委員会では、保有限度以上の農地を強制買収し、買収は政府が行い、小作人に売り渡すというこれまでにない改革を実施したのである。

## 一町四か村の合併

### 都留市誕生

昭和二十八年十二月に施行された町村合併促進法に基づいて、翌二十九年三月、谷村町・宝村・禾生村・盛里村・東桂村の一町四か村の合併促進委員会が開かれ、新市名を都留市とし、戸数五六七一、人口三万〇九八人、面積一六一・六八五平方キロで、同年四月二十九日に新市として発足したのであった。

(以上、都留市史『通史編』より)

## 第4回都留市ふれあい全国俳句大会

日時 4月27日 午前11時30分～受付  
場所 うぐいすホール大ホール  
席代投句 2題2句(当日出題)  
日程 受付 午前11時30分～正午  
席代投句締め切り 午後12時30分  
応募作品入賞者発表・表彰 午後1時  
同選評 廣瀬直人先生 午後1時40分  
講演会 講師 鷹羽狩行先生(「狩」主宰)  
午後2時10分～3時40分  
当日投句入賞者の発表・表彰 午後3時40分  
同選評 福田甲子雄先生 午後4時10分  
閉会 午後4時30分

当日投句の選者は次の先生方です。

小林波留、志村さゝを、梶 高嶺、幡野岳稜、廣瀬直人、福田甲子雄、松川樹海、山本琴嶺(敬称略・50音順)  
問合先 社会教育課 文化振興係

## 県民スポーツ事業団からおしらせ



### 初心者テニス教室

日時 毎週木曜日 午後7時～8時30分  
実施日 4月17、24日 5月1、8、15、22、29日 6月5、12、26日  
会場 北麓公園体育館メインアリーナ  
対象 一般男女 先着25名  
参加料 5000円

### 健康体操教室

日時 毎週木曜日 午後7時30分～9時  
実施日 4月17、24日 5月1、8、15、22、29日 6月5、12、19日  
会場 北麓公園体育館サブアリーナ  
対象 一般男女 先着40名  
参加料 5000円

いずれの教室も申し込みは次の管理事務所をお願いします。  
(財)山梨県民スポーツ事業団  
富士北麓公園管理事務所  
富士吉田市上吉田5000  
☎0555(24)3651